

師崎小の伝統行事『追跡ハイキング』を終えて

校長 井上 邦夫

師崎小学校の伝統行事「追跡ハイキング」を1月17日に行いました。昭和55年の1月に始まり、今年で「**第40回**」となります。つまり、40年間続いている行事です。また、今回は「**平成最後**」の追跡ハイキングでもありました。（「絵文字クイズ」のお題にもしましたが、全グループが全問正解でした。素晴らしい！）

当日は天候にも恵まれ、「**欠席ゼロ**」で、全校児童79名が無事にゴールすることができました。これは、「**思いやりの心**」と「**協力する心**」を大切にして、高学年の子が低学年の子の面倒をよくみて、グループをまとめていた成果です。中には「生まれてはじめて低学年の子の世話をした」と言っている子もいました。また、うまく進めないときに、先回りして、落ちていかないように手を引いたり、手や足をかける安全な所を声かけしたりしている子もいました。そして、この他にも、「追跡ハイキング」という行事を通して、子どもたちは様々なことを学んだと思います。私たち教職員も、子どもたちの姿から、多くのことを学ぶことができました。

おうちの方のご支援、ありがとうございました。

開会式



CP1「長なわとび」



CP2「ジェスチャーゲーム」



道なき道?を行く!



CP3「カモフラージュ」



CP4「絵文字クイズ」

※『へいせい さいごの とし』



閉会式



左義長のミニのぼり作り(3年生)

地域の講師の方に教えていただき
願いを込めた「ミニのぼり」が完成しました。



1月27日(日)の左義長まつり当日、荒井会場に飾ります。(点火14:30頃)ぜひとも、ご覧ください。

学校給食週間について (給食センターより)

今から74年前、第二次世界大戦が終わったばかりの日本は、食べ物がなく、学校給食も取り止めになりました。それをかわいそうに思った世界の人たちが、日本の子どもたちに食べ物を送ってくれたので、学校給食を再び始めることができました。昭和21年12月24日のことでした。そこで、この日を戦後の学校給食始まりの記念日としましたが、冬休みだったので、ひと月後の1月24日を記念日にして、この日から1週間を給食が再び始められたことへの感謝の気持ちを表す『学校給食週間』と決めました。

南知多町では、1月21日から25日までの5日間、「コツコツとろう！カルシウム」というテーマで、学校給食週間を実施します。

カルシウムは、骨や歯を作るだけでなく、神経の伝達や、筋肉を動かすことにも関わっています。骨の量は、男子では中学生から高校生の間に、女子では小学校高学年から中学生の間に最も増えます。大人になってから、骨の量を増やすことはできません。小学生・中学生のみなさんの時期にカルシウムをしっかり取ることで、骨が強く、丈夫になります。将来に至るまで、骨折しにくい丈夫な骨をつくりましょう。

毎月19日は「南知多のお魚の日」です！



師崎小のホームページにも学校だより「kujira」を掲載しています。(カラーで見ることができます)